

〈創立45周年シリーズ〉第6回

モーツァルト室内管弦楽団

第167回定期演奏会

〈フランス音楽特集〉



指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有

ベルリオーズ◆オラトリオ《キリストの幼時》より
第2部《エジプトへの脱出》

テノール: 福田 清美

サン=サーンス◆チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33

チェロ: 藤森 亮一

フォーレ◆「レクイエム」作品48

ソプラノ: 田中 希美 パルトン: 萩原 寛明

合唱: モーツァルト記念合唱団 (合唱指揮: 益子 務)



チェロ: 藤森 亮一



第161回定期演奏会 ハイドン:《ネルソン・ミサ》2014年12月20日

2015.

12/13 (日) いずみホール

2:00pm開演(1:30pm開場) 入場料: 一般 ¥5,000(指定席)/学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール [一般財団法人 住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail: artists@gol.com

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-3-3 南森町イシカワビル507 URL: <http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645 (電話受付: 平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 274-245)

ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード: 58771)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



《フランス音楽特集》

モーツァルト室内管弦楽団は〈フランス音楽特集〉というのを年1回くらいやってきているが、これはフランスの作曲家たちがモーツァルトの精神を忠実に受け継いでいると思えるからである。ベルリオーズのような作曲家でもその例外ではない。今回はクリスマスから年末のシーズンにふさわしいプログラムとした。N響首席チェロ奏者の藤森亮一、独唱の田中希美、萩原寛明、そして盟友モーツァルト記念合唱団とともに作り上げる格調高いアンサンブルに大いに期待していただきたい。

門 良一

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツァリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。

藤森亮一 ● チェロ *Ryoichi Fujimori, Cello*

1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斉藤秀雄賞受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴア・クアルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティエナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴア・クアルテットとしてアリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師を務め後進の指導にあたっている。



テノール：福田 清美



ソプラノ：田中 希美



バリトン：萩原 寛明